

[5 月度例会] 講演会「絵葉書にみる大正・昭和のごみ焼却施設」～ 絵葉書の愉しみ ～

日時：2015 年 5 月 7 日（木） 18：00～20:00 於：近畿本部会議室

講師：元 亀岡市副市長 山崎 達雄 氏

1. はじめに

講師は京都府、亀岡市で環境・水道・企画等を担当。京都を中心にゴミ、尿尿、便所の歴史も研究。著書に「洛中塵捨場今昔」等。絵葉書等を蒐集してきたが、雑誌「都市と廃棄物」に、「絵葉書にみる大正・昭和のごみ焼却施設」を連載し、昭和の時代を読み解く。5 月号からは「絵葉書にみる昔のトイレ事情」を連載。

2. 京都市塵芥焼却場新築記念絵葉書（大正 14 年発行、袋入り葉書 3 枚）

現存するごみ焼却施設の絵葉書では最古。全景・階上運搬路投入口・焼却炉側面で構成されており、絵葉書をよく見ると、当時京都のランドマークである東寺と梅小路機関区扇形車庫が写っている。京都の風景がわかる貴重な絵葉書。

3. 大阪市立塵芥焼却場絵葉書（昭和 4 年発行、袋入り葉書 10 枚）

木津川塵芥焼却場の増設の際に発行。木津塵芥焼却場を中心に、今宮焼却場・工事中の寝屋川塵芥焼却場・塵芥船の曳航で構成。大阪市のごみ焼却場は、明治 36 年の福崎塵芥焼却場が最初。当時として日本一。東京市役所から照会もあり、ソウルごみ焼却施設の模範となった。木津川支流の尻無川の改修もあり廃止され、代わって木津川塵芥焼却場が建設され、塵芥の運搬にはホイスト等、新しい技術が導入された。

4. 東京市立第一塵芥処理工場竣工記念絵端書（昭和 4 年発行、袋入り葉書 3 枚）

全景・焼却炉・選別装置で構成。単なるゴミの焼却でなく、ゴミを資源として取り扱い、有価物と不燃物を選別して焼却したので、名称も「塵芥処理工場」と名付けられ、三階建ての外観もごみ焼却場には見えない。経済的な理由もあって、第二工場はゴミの分別をせずに焼却された。

5. 名古屋市下飯田汚物処理所絵葉書（発行時期未記載・昭和 4 年か？ 袋入り葉書 5 枚）

下飯田汚物処理所には、塵芥焼却場と尿尿浄化装置が設置され、絵葉書もごみ焼却施設 3 枚、尿尿浄化装置 2 枚で構成。昭和 4 年にごみ焼却施設の増設と尿尿浄化装置が新設された時に発行。尿尿浄化装置は、京都市の十條尿尿処理所よりも早く稼働、日本で初めての生物処理を導入した尿尿単独処理施設。

6. 一宮市役所、一宮市営塵芥焼却所絵葉書（発行時期未記載、袋入り葉書 3 枚）

ごみ焼却施設絵葉書の中で、唯一彩色されている。銀色の線がはいるなど、洒落た体裁。発行年は不明だが、画像の中味から昭和 3 年の昭和天皇の御大典に発行されたか。一宮市では、吉田初三郎が描いた鳥瞰図が発行されているが、その中にごみ焼却所が描かれている。

7. 尼崎市塵芥焼却場絵葉書（昭和 14 年、袋入り葉書 16 枚のうち 1 枚）

尼崎市は、ごみを堆肥活用や、野焼き処分。ごみの性状調査を実施して、昭和 12 年にごみ焼却施設が完成。絵葉書は、室戸台風で被災した学校校舎等の復旧等、各種工事の竣工記念として昭和 14 年に発行された中の 1 枚。

8. 瀬戸市崎市塵芥焼却場絵葉書（発行時期未記載、袋入り葉書 3 枚）

絵葉書は、全景・焼却炉・断面図の 3 枚で構成。当時の里山の様子が見える。

9. まとめにかえて 絵葉書の楽しみ

新しい絵葉書、新しい史料を発見する楽しみと、絵葉書から時代や風景等を読み取る楽しみがある。ごみ焼却施設の絵葉書があれば、ご一報をお願いします。